不登校対策への支援拡充

資料５
兵庫県資料

現状・課題

- 全国の小・中学校における不登校児童生徒数は、平成25年度から12年連続で増加し、令和６年度には約35万４千人と過去最多を更新するなど、**依然として増加傾向が続いている。**
- **国では令和７年度から「校内教育支援センター支援員配置事業」を開始**しているものの、**事業対象は校内教育支援センターの立ち上げ**であり、**対象期間は３年間に限られている。**

～兵庫県の取組～

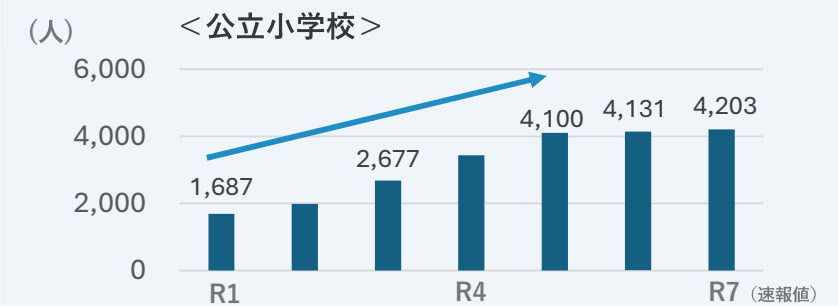
- **令和６年度から「不登校児童生徒支援員」の配置支援を開始**
- **県内では、令和６年度に全中学校、令和８年度に全小学校へ支援員を配置する取組を実施**

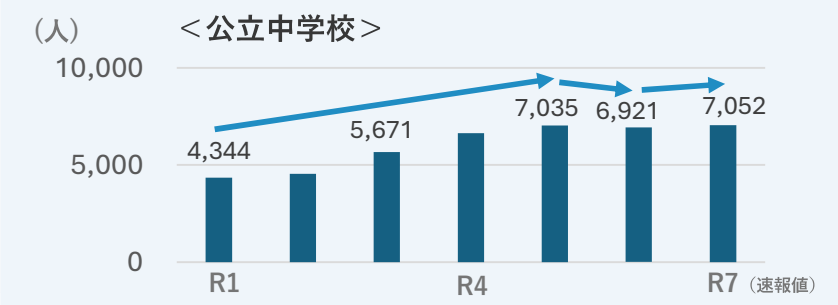
＜不登校児童生徒支援員の県内市町への配置支援状況（神戸市除く）＞

	R6	R7	R8
小学校	4校に1人(※)	2校に1人(※)	全校
中学校	全校	全校	全校

※市町単位

＜兵庫県内の不登校児童生徒数推移（神戸市除く）＞





提言

1. **令和７年度から予算化された「校内教育支援センター支援員の配置事業」について、センターの立ち上げ支援に加え、支援員を配置している全ての小中学校を対象とした支援事業に拡充すること**
2. **校内教育支援センター支援員を全小中学校に標準的に配置すべき職として位置づけ、財政支援を拡充すること（継続）**